



今月の記事

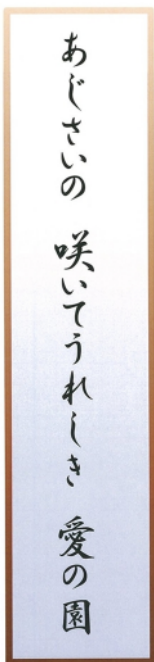
安全な食事

ユニット自慢

深和ホーム

リレーエッセイ

今月の愛の園



入居者Nさんの作品です



管理栄養士 栗栖いずみ

安全な食事のために

調理室では食中毒を予防して安全でおいしい食事を召し上がっていただくために、衛生管理の徹底を心掛けています。衛生管理の徹底と言っても、特に難しい事をしているのではなく、一般家庭で行っている事と基本は同じで、細菌を「付けない」、「増やさない」、「やっつける」を基に行なっています。

「付けない」では、手洗い・消毒、帽子・マスク・衛生手袋の着用、肉・魚・野菜・調理済み食品別の包丁・まな板の使い分け、調理器具・食器の乾燥消毒、タワシ・スポンジの次亜塩素酸ナトリウムによる消毒、終業時の作業台のアルコール消毒、月1回の大掃除と検便、調理室出入口の抗菌マット設置などを行っています。

「増やさない」は、冷蔵・冷凍食材の納品時の温度測定、料理提供までの温冷配膳車などによる適温管理(冷蔵5℃以下、温蔵6～5℃以上)、毎日の冷蔵庫・冷凍庫の温度

チェックなどです。

「やっつける」では、加熱調理時の中心温度の測定(85℃で1分以上)を行なっています。

その他にも、始業時と終業時に水道水の残留塩素を測定したり、提供した料理と原材料を検食として2週間分冷凍保存したりしており、また、年1回は保健所の立入調査により必要な指導をいただいています。

提供した時間に料理が食べられない時はユニット内の冷蔵庫に保管してもらい、次の日に持ち越さないことを徹底しています。

ご家族の皆さんには、6～10月中の生物(なまもの)持ち込みへの配慮につきご協力いただき感謝いたします。



焼魚の中心温度測定

ユニット自慢！(7) 「1ユニット」

入居者の皆さんは個性豊かで、それぞれのスタイルで自由に過ごしていただいています。塗り絵やパズルが好きな方、手芸や習字が得意な方、テレビを見るのが好きな方やお昼寝が好きな方など様々です。

行事には積極的に参加し、楽しい事が大好きです。皆さんとても仲が良くお互いを気遣い、助け合いながら過ごされており、その様なお姿を見て微笑ましく思っています。

1ユニットには愛の園で生活して一番長い方が居られ、いつも笑顔でいろんな歌を歌いユニット内を明るく雰囲気してくれます。笑い声を聞くと職員もつられてしまいます。

私たち職員は出勤時、退勤時は必ず入居者の皆さんにご挨拶します。朝は笑顔で迎えてくださり、夕方は「また来てよ」、「もう帰るかよ」の声や笑顔で手を振ってくれます。私たちは入居者の皆さんに元気をいただき活力になっているように思います。

今年から入浴前に着替えの衣類をご本人に選んでいただいています。初めは戸惑っておられましたが、最近はタンスの引き出しを開けて沢山ある洋服を迷いながら選んだり、好みの洋服を見ると直ぐ指さしたりと楽しまれているように思います。些細なことなのですが、こうして少しでも多くコミュニケーションをとり、楽しみが増えるように努めています。

毎月1回のユニットでの会議では、入居者の皆さんお一人おひとりの心身の状態やケアの在り方について話し合い、他部署の職員からも意見・アドバイスをいただいています。

日々快適に過ごしていただけるよう家庭的なユニット作りを目指しています。ご家族からのご意見・ご要望もぜひお伝えください。



笠松秀峰 橋本通代 洞知里



岩崎時子 橋本祥子



併設事業のご紹介(4)

深和ホームは、1988年に上富田町岩田に開設された、住宅型有料老人ホームです。

入居定員は50名、富田川を見下ろす建物は5階建てで、2階から4階が居住スペースとなっています。居室はA、B、Cの3タイプがあり、現在30名の方々が生活されています。

入居いただける方は、自立されている方、或いは要支援、要介護者で外部からの介護サービスを利用することで生活が継続できる方となっています。

1階にはチャペルがあり、月に一度、田辺聖公会の北山司祭によって聖餐式が行われています。ホームでの生活を快適に過ごしていただくため、週に3回の買物への配車の他、必要に応じて紀南病院、南和歌山医療



ステンドグラスのあるチャペル

リレーエッセイ(1)

「Anniversary Year」

リレーエッセイ第1号！「テーマは決まっていなくて、何でも書いていいです。」これほど難しいものはありません。でも私にはグッドタイミングでした。というも…

先月、30歳の誕生日を迎えました。知人からは食事や花束、長男からは「野球のユニフォーム姿を見せるのがプレゼント！」と、いっちょまえなセリフ。たくさんの幸せをもらいました。

そして、愛の園へ就職して10年が過ぎました。あっという間の年月。様々な出逢いや経験をさせていただき、得たものがたくさんありました。

私のデスクには、就職して間もない頃から現在までの写真が飾ってあり、この10年の時を刻んでくれています。写真っておもしろいですよね。いい表情が撮れて嬉しいのはもちろんですが、時間の流れを感じとること

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

有料老人ホーム

「深和ホーム」

センターをはじめ近隣医院への受診の送迎、付添いも行っています。

介護サービスを受ける際は、愛の園の特養、デイサービス、居宅介護支援事業所、また外部の訪問介護、訪問看護事業所などと連携して支援させていただきます。

入居者の皆さんが安心して生活していただけるよう、宮崎靖子ホーム長を中心に職員全員が力を合わせてサポートしています。



青空と満開の桜に映える深和ホームの全景

事務職員

大川靖代

ができたり、その時の思い出が鮮明によみがえってきたりします。だから私は、小さな出来事でも写真におさめるようにしています。

今年、愛の園は40周年を迎えます。今年には私にとって気を引き締める節目の年でもあり、記念することの多い楽しい1年になればと考えています。とりあえずは、EXILEライブ参戦！それとスキューバダイビングに挑戦したいと思います。

次回のリレーエッセイは介護職員の大戸里佳さんへ依頼します。よろしくお願いします。



6～7月の愛の園

- 10(日) 日曜礼拝
- 12(火) マリア会
- 14(木) やまびこ会
- 15(金) 社協ボランティア
- 17(日) 日曜礼拝 父の日行事
- 19(火) マリア会
- 21(木) やまびこ会 南紀の台婦人会
- 24(日) 日曜礼拝
- 26(火) ひまわり会
- 27(水) 歯科診療
- 28(木) やまびこ会
- 1(日) 日曜礼拝
- 3(火) マリア会
- 4(水) それゆけ、まりもと愉快的仲間たち
- 5(木) やまびこ会

編集者から

過日参加した研修会の発題者から、福祉の裾野を広げる人材には、「誰かに支えられた経験から、人を支えることが好きになることが大切」と伺いました。また、「福祉の現場で働いている人は自分の職場に若者や子供たちを数多く誘い、人を支えることができるのは人であるということを経験できる機会を提供してほしい」とも話しておられました。愛の園でも体験交流など積極的に実践し、高齢者福祉の働きを伝えることができるよう努力します。

今号より、職員によるリレーエッセイがスタートいたします。小さなスペースですが、職員がバトンを繋ぎながらそれぞれの思いを綴っていきます。どうぞご期待ください。(A)

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>